



## 保健師さんが語る「大切なこと」

青森県知事 三村 申吾

「青森県型地域共生社会」。思いっきり簡略化すれば、「住み慣れた集落や地域社会で、どう日常的にいのちと暮らしを持続させていけるようになるか」という事になるだろうか。

背景として、迫りくる人口減少下での高齢化率の急上昇という現実がある。

そして、そのあまりの急激さに市町村の行政サービスシステムが、これも背景にあるあらゆる分野での人員不足の中で、対応しきれないのでは、との懸念が増大している。

しかし、私たちに、現在よりもっと厳しい社会経済状況や各種インフラ、十分ではない社会保障の中で、地域社会という現場に立脚し、いのちと暮らしを見つめ、守るために頑張ってきたプロフェッショナルたちがいる。

それは行政保健師の方々である。

かつて、県職員ではあるが、市町村へ駐在、派遣され、地域に密着していた方がいた。

その方々、保健婦(当時の名称)さんたちは、年間300件の家庭訪問を通して、健康づくりや衛生指導、子育て・高齢者・障害者支援等々、何でもこなしながら、自らのスキルを高めるだけでなく、地域の社会状況も含めて見極める「地域診断」の技量を高めていった。

私は町長経験者として、現場における保健師の方々の堅実な努力の積み重ねと献身に常々頭が下がる思いであり、本当に頼りにしてきた。

「故き(原点)を温ねて新しきを知る」とのことわざがあるが、「青森県型地域共生社会」をテーマとするにあたって、地域を見つめ、地域と共に生きてきた保健師さん方に、大切とすべきことは何かを率直に尋ねた。

保健師さん曰く、

— 現在、様々な制度が細分化されすぎ、包括的な支援ができる仕組みになっていない。昔は少し「おせっかい」が重なっていた。

私たち保健師も、福祉も保険も関係なく、人々が地域の中で生き生きと暮らして欲しいとの思いで住民に関わっていた。

地域共生社会の主役は「地域住民」である。自分たちが暮らしやすい地域をつくるため、「自分が誰かのために何ができるのか、互いにできることは何か」を考え、「互助」の力を高めることが必要である。

そして、この「互助」の力を最大限に生かすコーディネートをする「ひと」が重要である。

また、「連携」ではなく、もう一步踏み出す「協働」という意識、「この町を何とかしたい」という熱い思いも大事。

「ひと」づくり、「つながり」づくりが大事—

「大切なこと」をシンプルに教えていただいたと思っている。

心から感謝するだけでなく、この素晴らしきパートナーたちの力を十二分にいただいて、「ゆりかご」である集落や地域社会が持続可能となるシステムづくりにチャレンジしたい。

## 青森・ソウル線で海外へ!

青森空港国際化促進協議会では、韓国観光公社と連携し、パスポートを取得・更新して青森・ソウル線を利用する方を対象として、旅行料金が5,000円引きとなる「パスポート取得応援キャンペーン」を実施中です。青森・ソウル線を利用し、アジアのハブ空港である仁川空港で乗り継いで世界各地へ旅行する場合も対象となります。海外旅行に大変便利な青森・ソウル線をぜひご利用ください。

曜日	便名	青森空港発	仁川空港着	便名	仁川空港発	青森空港着
日・水・金	KE768	13:55	16:55	KE767	10:30	12:50

詳しくは、県庁HP

交通政策課 ☎017-734-9153

## 農林業センサス 経営体調査を実施します!

農林業センサスは、我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的に、5年ごとに行う調査です。



「つつー」

このうち農林業経営体調査は、一定規模以上の農林産物の生産を行うか、又は委託を受けて農林業作業を行う事業者を対象とし、12月中旬から翌年2月末まで調査員による調査票の配布と回収を行います。皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

詳しくは、県庁HP   統計分析課 ☎017-734-9169

## 防ごう! 油流出事故

冬期間は油の流出事故が多発します。河川に油が流出すると、周辺環境に多大な影響を及ぼすだけでなく、油の回収・オイルフェンスの設置等の費用を**原因者が負担**することとなります。

油流出事故の多くは、うっかりミスや管理不備が原因ですので、少しの注意で防げるものです。ご家庭のホームタンクの定期点検等を怠らないようにしましょう。

また、油流出事故を発見した場合は、すぐに各市町村や最寄りの消防署、または国や県の機関にご連絡ください。

詳しくは、県庁HP   河川砂防課 ☎017-734-9662

### 企画展

## 「縄文遺跡群と県立郷土館—発掘調査の軌跡—」

県立郷土館では、青森県の先史文化解明のため、これまで県内21か所で発掘調査を行ってきました。その中には世界遺産登録候補である「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する遺跡も含まれています。本展は当館発掘調査成果を一堂に展示・公開する初企画です。



早期 尖底深鉢形土器 東通村下田代納屋遺跡

初公開資料多数。出土品の魅力をお楽しみください。

■期間: 12月7日(土)~1月30日(木) 9:00~17:00 ※12/29~1/3は休館

■料金: 一般310円(1月は250円)、高校生150円(1月は120円)、中学生以下は無料

詳しくは、  県立郷土館 ☎017-777-1585

みなさんと県庁を結ぶ  
県政インフォメーション

テレビ ■RAB[LINK/青森県](30秒スポット) ■RAB[大好き、青森県。](第三日曜日)17:00~17:15[放送週が変更になることがあります] ■ATV[みんなの県庁!](土)16:55~17:00 ■ABA[メッセージ](土)9:30~9:35  
ラジオ ■RAB[青森県広報タイム](月)~(木)7:30~7:35 ■エフエム青森「あomorいふあん」(月)~(金)16:55~17:00 ■エフエム青森「申吾のほっとチャンネル」(第一日曜日)7:00~7:30  
新聞 ■「広報あomorいけん」(毎月1日・16日) 東奥日報・デーリー東北・陸奥新報  
HP/Twitter ■県のホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/> ■青森県庁Twitterアカウント (@AomoriPref)

編集 青森県広報広聴課 〒030-8570 青森市長島1-1-1 ☎017-734-9137 ※「県民だよりあomorい」は偶数月発行です。※点字版・録音版をご希望の方は広報広聴課までお知らせください。  
発行 ※今後の広報紙制作の参考とするため、「県民だよりあomorい」に関する皆さまのご意見・ご感想を郵送でお寄せください。この印刷物は520,000部作成し、印刷経費は1部当たり9.4円です。